

社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー開催要領

～不登校・ひきこもり・ニート、すべての若者が生きられる未来へ～

(H29. 1. 17 岩手県青少年育成県民会議)

1 目 的

現代の大きな社会的課題である不登校・ひきこもり・ニート等の社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者への支援について、保護者や教育関係者、支援機関関係者等を対象に公開セミナーを開催し、この問題に対する理解を深めるとともに、支援施策の充実につなげるものです。

2 内 容

本年2月に開催した「社会生活に困難を有する子ども・若者支援公開講座」（講演及パネルディスカッション）を更に発展させ、本課題について多面的な理解が深まるよう、大学の研究者や支援機関の支援実践者等を講師に連続講義を開催します。

時期	テーマ	講師
第1回 11月25日	子ども・若者がかかえる困難と社会的状況～子どもたちのSOSを私たちはどう受け止めるか～	県立大学社会福祉学部 教授 田中 尚 氏
第2回 12月15日	事例から見るステージごとの課題とポイント① (回復までのストーリー)	(社福)わたげ福祉会 (仙台市) 代表 秋田 敦子 氏
第3回 1月26日	事例から見るステージごとの課題とポイント② (本人・家族それぞれの回復のストーリー)	同 上
第4回 2月21日	切れない漏らさない支援でエンパワメントを図る - すべての子どもと若者が支えられながら自ら歩めるために -	静岡大学人文社会科学部 教授 荻野 達史 氏

(注) 第2回、第3回では、ひきこもりの方への最初のアプローチから、就労に踏み出すまでを、具体的な事例等をもとにステージごとの課題とポイントについて講義を受けるものです。

3 対象者

青少年団体関係者、PTA・学校関係者、福祉関係者、県教委及び市町村教委並びに市町村青少年担当課の担当者等（30～50人程度）

4 講義スケジュール（※第4回）

時間	内容	備考
13:15	開 会	1時間20分 10分 6～8名程度のグループに分かれ、最初の40分で講演をもとに参加者間での意見交換を行い、講師に対する質問事項1つを決定。残りの30分間で各グループから講師に対し質疑を行う。
13:20	講 演	
14:40	(休憩)	
14:50	グループワーク	
(14:50)	(グループ討議)	
(15:30)	(講師質疑応答)	
16:00	閉 会	

(注) 平日開催とします。(※本事業は内閣府が経費の一部を負担しますが、その条件として市町村の参加が義務付けられており、職員の場合は平日が集まりが良いため。)

5 その他

- (1) 参加者は原則として全ての講座を受講できる者を優先しますが、できるだけ多くの参加者を得るため、全ての講座の受講はできない場合も認めるものとします。
- (2) 最終講義は、第2回青少年育成セミナーの研修会との併催となるものです。
- (3) 内閣府が経費の一部を負担するものです。(※子供・若者支援地域ネットワーク事業)